

平成29年3月期 第1四半期 決算説明会資料

平成28年8月5日



株式会社 **DTS**
<http://www.dts.co.jp/>

- 平成28年4月の「データリンクス株式会社」による人材派遣事業の一部譲渡により、特別利益(第1四半期)を約1.6億円計上。また、当該事業の売上高(通期)が対前期で約21億円減少する見込み。
- 平成28年3月期における「株式会社総合システムサービス」の決算期変更(12月決算→3月決算)に伴い、平成27年1月から3月までの3ヵ月分を前期に連結したことから、売上高(第1四半期)が対前期で約5億円減少。
- 平成28年3月期における拠点集約に向けた本社などの土地および建物の売却に伴い、特別利益11億円および特別損失5億円(第1四半期)が対前期で減少。

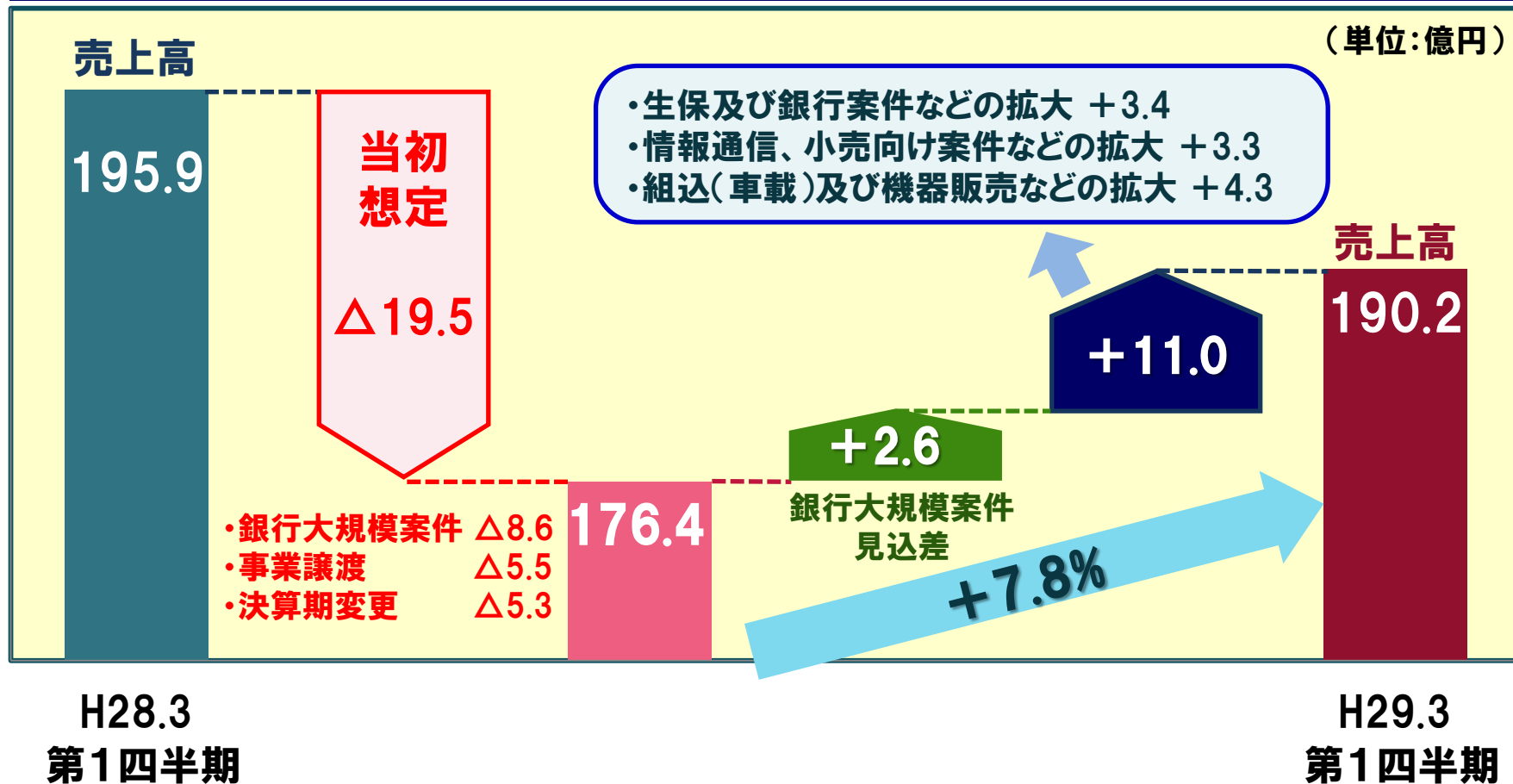
第1四半期 連結業績

売上高は、生保案件やソリューションビジネスなどが好調に推移したが、銀行の大規模統合案件のピークアウト、人材派遣事業の譲渡、株式会社総合システムサービスの決算期変更等の影響により、前年同期比△5.7億円の減少。

(単位：億円、%)	実績	売上比	前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	190.2	—	△5.7	97.1%	24.4%
売上総利益	35.3	18.6%	+0.2	100.6%	23.4%
販管費	20.2	10.7%	+1.2	106.7%	25.0%
営業利益	15.0	7.9%	△1.0	93.5%	21.5%
経常利益	15.5	8.2%	△0.8	94.7%	21.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11.0	5.8%	△3.2	77.0%	24.5%

第1四半期 連結売上高 増減要因

- ・銀行の大規模統合案件のピークアウト、人材派遣事業の譲渡や決算期変更による売上高の減少は約△19億円を想定。
- ・減少分を除き、銀行の大規模統合案件の見込差及び生保・銀行案件の拡大等により、実質成長率は+7.8%。



第1四半期 セグメント別 売上高

- ・法人通信・ソリューションセグメントと運用BPOセグメントが増収。
- ・金融公共セグメントは銀行の大規模統合案件の影響により減収。
- ・地域・海外等セグメントは、事業譲渡及び決算期変更の影響により減収。

(単位：億円、%)	実績※1	構成比	前年同期比※2		業績予想に対する進捗率
売上高	190.2	-	△5.7	97.1%	24.4%
金融公共	69.7	36.7%	△2.0 ※3 (+3.1)	97.2% (104.7%)	26.3%
法人通信 ソリューション	43.8	23.0%	+3.2	108.1%	21.2%
運用BPO	29.6	15.6%	+0.8	102.9%	24.5%
地域・海外等	46.9	24.7%	△7.7 ※3 (+4.0)	85.8% (109.3%)	25.1%

※1 実績はグループ外への売上高

※2 前年同期比は概算値

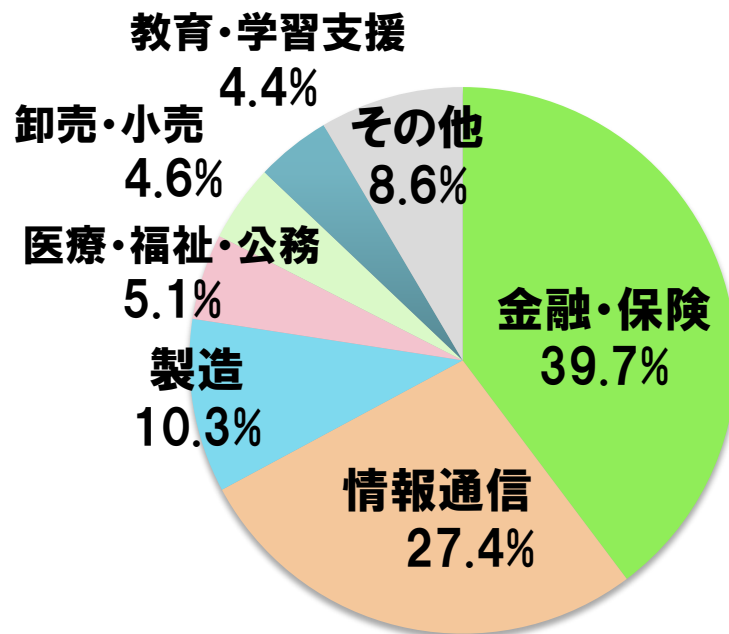
※3 ()は銀行大型案件のピークアウト、事業譲渡、決算期変更影響を除いた数値

第1四半期 エンドユーザー別 連結売上高

- ・金融・保険は生保案件などが拡大したが、銀行の大規模統合案件の影響により前年比で減収。
- ・教育・学習支援は大学向け機器販売等の伸長により前年比で増収。

経済産業省による業種分類

(単位:億円、%)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	75.5	39.7%	95.4%	△3.6
情報通信	52.0	27.4%	96.7%	△1.7
製造	19.5	10.3%	93.5%	△1.3
医療・福祉・公務	9.6	5.1%	78.7%	△2.6
卸売・小売	8.6	4.6%	122.9%	+1.6
教育・学習支援	8.4	4.4%	166.1%	+3.3
その他	16.3	8.6%	92.5%	△1.3
合計	190.2	100.0%	97.1%	△5.7



以下の3業種は、決算期変更影響等を除くと前年比で増収 ※()は影響を除いた増加額

情報通信 : 大手Slerや通信業、DC事業者向け案件など拡大。(+1.6)

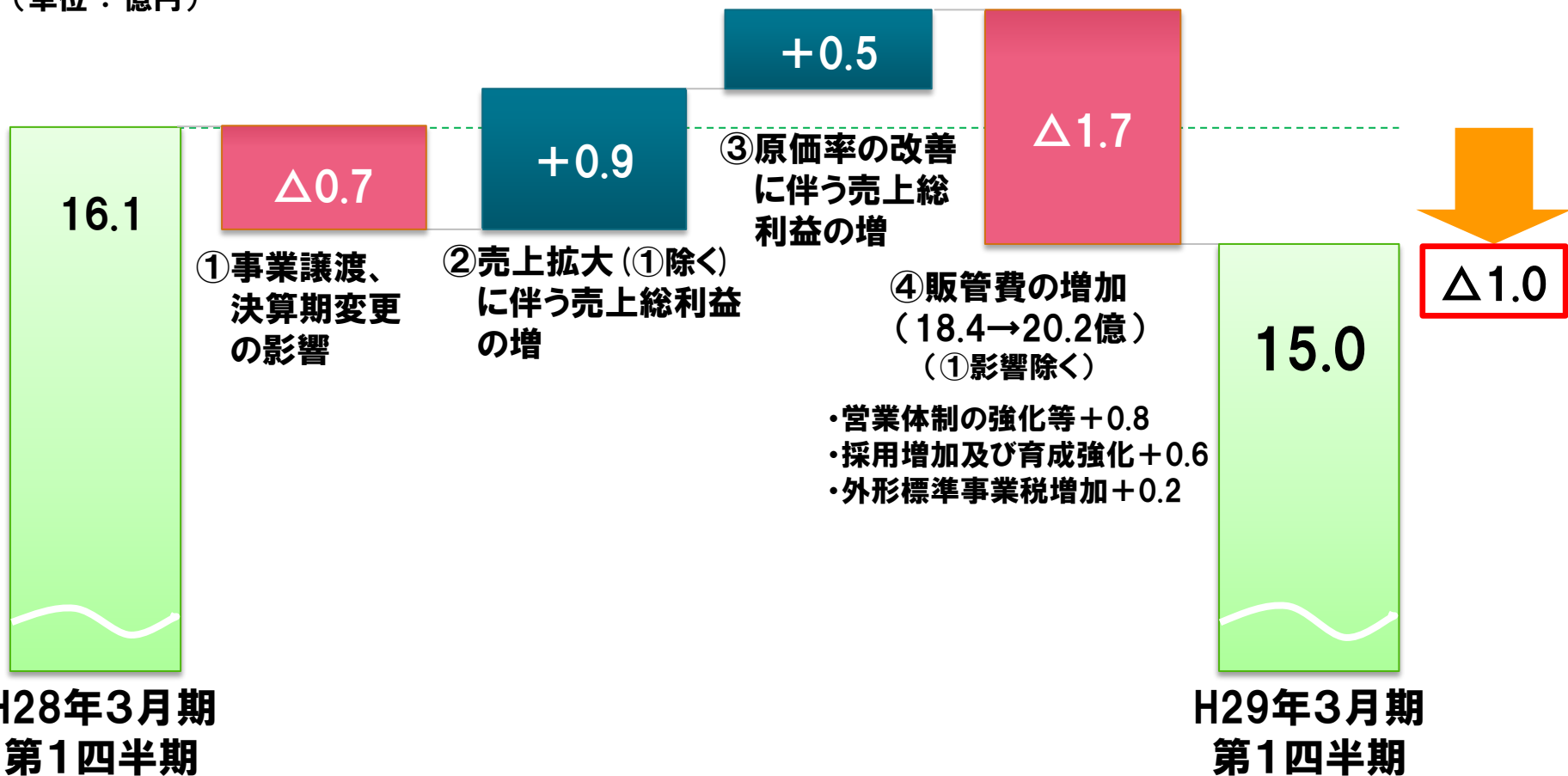
製造 : 組込(車載)やERP案件など拡大。(+0.5)

医療・福祉・公務 : 地方自治体や年金、健保案件など拡大。(+0.6)

第1四半期 連結営業利益の増減要因

・事業譲渡及び決算期変更に伴う減少を除けば、売上高増加および原価率改善により売上総利益は増加。
 ・販管費の増加が売上総利益の増加を上回り、営業利益は減少。

(単位：億円)



第1四半期 セグメント別受注

【受注残高の状況】

- ・金融公共セグメントは、生命保険、信託や公共案件等の拡大により増加。
- ・法人通信・ソリューションセグメントは、ERP案件は堅調に推移したが、新規案件などの受注獲得に苦戦した影響により減少。
- ・運用BPOセグメントは、情報通信業向け運用案件などが好調に推移し増加。
- ・地域・海外等セグメントは、事業譲渡などの影響を除き好調に推移。

単位(億円、%)	受注高				受注残高			
	実績※1	構成比	前年同期比※2		実績※1	構成比	前年同期比※2	
連結	166.2	—	+1.8	101.1%	280.0	—	+10.9	104.1%
金融公共	70.5	42.4%	+10.9	118.4%	127.1	45.4%	+21.4	120.3%
法人通信 ソリューション	36.9	22.2%	△11.7	75.8%	46.2	16.5%	△14.0	76.7%
運用BPO	12.3	7.4%	+5.7	187.9%	75.3	26.9%	+8.2	112.3%
地域・海外等	46.4	27.9%	△3.0 ※3 (+7.6)	93.8% (119.7%)	31.3	11.2%	△4.7 (+2.0)	86.8% (106.9%)

※1 実績はグループ外への売上高

※2 前年同期比は概算値

※3 ()は事業譲渡、決算期変更影響を除いた数値

第1四半期 個別業績

- ・売上高は、銀行の大規模統合案件の影響を幅広い分野の案件でカバーし、前年同期比で増収(101.0%)。
- ・営業利益は、営業体制の強化や税制改正などの影響により販管費が増加し、前年同期比で減収(98.0%)。

(単位：億円、%)	実績	売上比	前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	132.5	—	+1.2	101.0%	24.5%
売上総利益	25.2	19.0%	+0.6	102.6%	23.4%
販管費	10.8	8.2%	+0.9	109.4%	22.0%
営業利益	14.3	10.8%	△0.3	98.0%	24.6%
経常利益	16.2	12.3%	+0.7	105.1%	27.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.2	9.2%	△2.3	83.8%	30.6%

(参考1)第1四半期 旧セグメント 売上状況

- ・システムは、生保案件や公共案件などが好調に推移。
- ・オペレーションは情報通信業向けの運用案件などが堅調に推移し増収。
- ・プロダクトは教育機関向け機器販売の拡大により増収。

(単位:億円、%)		実績	構成比	前年同期比		主な増減要因
売上高		190.2	-	△5.7	97.1%	
情報サービス		187.1	98.4%	△0.2	99.9%	
	システム	133.5	70.2%	△3.6	97.3%	・生保、信託、地方自治体など幅広い業種で好調に推移
	オペレーション	35.4	18.6%	+2.0	106.1%	・情報通信業向けの運用・保守案件が堅調に推移
	プロダクト その他	18.1	9.5%	+1.3	108.3%	・教育機関向け機器販売が好調
	人材サービス	3.0	1.6%	△5.4	35.8%	・事業譲渡により減少

(参考2)第1四半期 旧セグメント 受注状況

受注高、受注残高ともに、生保、信託、公共案件などが好調に推移し、事業譲渡や決算期変更による減少分を補い、対前年同期比で増加。

(単位:億円、%)	受注高				受注残高				主な増減要因 (受注残高)
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比		
受注高・受注残高	166.2	-	+1.8	101.1%	280.0	-	+10.9	104.1%	
情報サービス	165.6	99.6%	+6.8	104.3%	275.3	98.3%	+19.4	107.6%	
システム	129.6	78.0%	+0.3	100.3%	195.3	69.8%	+12.2	106.7%	・生保、信託等の金融分野、ERP案件など拡大
オペレーション	16.8	10.1%	+5.3	146.4%	77.7	27.8%	+7.4	110.5%	・情報通信業向けの運用・保守案件の拡大
プロダクト その他	19.1	11.5%	+1.2	106.8%	2.2	0.8%	△0.2	90.5%	
人材サービス	0.6	0.4%	△5.0	10.8%	4.7	1.7%	△8.5	35.6%	・事業譲渡により減少

(参考3)平成29年3月期 主なプレスリリース

リリース日	会社名	タイトル・概要
4月21日	DTS	「販売管理ソリューション「Xsi:d+」を販売開始」 *使い慣れた表計算ソフトとのスムーズな相互連携を実現する販売管理ソリューション「Xsi:d+」を販売開始
4月28日	デジタルテクノロジー	「仮想化環境に特化したデータ保護製品を提供する「ウィーム・ソフトウェア株式会社」とディストリビュータ契約を締結」 *仮想化環境に特化したデータ保護によりアベイラビリティ・ソリューションを実現
5月20日	DTS	「建築用3Dプレゼンテーションソフト「Walk in home 16」を販売開始」 *住宅の風の流れを簡単にシミュレーションできる機能を搭載。環境・省エネ対応を強化した建築用3Dプレゼンテーションソフト「Walk in home 16」を販売開始
6月28日	横河デジタルコンピュータ	「横河デジタルコンピュータ、自動車産業分野における計測・適合開発支援ツール分野でマックシステムズと協業を開始」 *自動車産業分野における計測・適合開発支援ツール分野で、各種計測器や検査装置などの設計・製作・販売にノウハウを有する株式会社マックシステムズと協業を開始
7月11日	DTS	「BIダッシュボード「GalleriaSolo(ガレリアソロ)」を販売開始」 *IoT・オムニチャネル時代に必要な経営指標や分析データを手軽かつグラフィカルに可視化するBIダッシュボード「GalleriaSolo(ガレリアソロ)」を販売開始
7月27日	横河デジタルコンピュータ	「トレーサビリティ管理ツール『microTRACER』 Ver. 2.4 リリース」 *既存成果物を用い要件から、設計、実装、テストなど、ソフトウェア開発の工程を可視化するトレーサビリティ管理ツール『microTRACER』 Ver. 2.4 リリース

平成29年3月期 第1四半期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。